

東海大学附属望星高等学校

同窓会々報 第2号

日本の政治に新しいビジョンを



東海大学常務理事
副 学 長 松前達郎

むべき方向を真剣に考えなければなりません。

そのためには学者も科学者も象牙の塔に閉じこもるのではなく、各々が蓄積してきた知識や体験を、具体的に社会のために生かすべきです。私も教育者・科学者の一人として、身をもってそれを試みる決意です。

今日では経済も社会も、また教育も科学も、政治の鏡として敏感に反応します。ですから私は、まずこの鏡を清くゆがみのないものにし、明るく希望の持てる公正な社会を作りあげていくため、全力をあげて努力してまいります。

望星高校OBの強い応援協力を期待し
てやみません。

松前達郎先生の略歴

昭和二年 松前重義の長男として長崎で生まれる。
昭和二十五年 東北大学卒業後、電気通信省（現電電公社）電気通信研究所で主任研究員として勤務。数多くの技術開発を行なう。
昭和三十七年 工学博士、翌三十八年に東海大学教授となる。
昭和四十六年 科学技術会議専門委員、日本对外文化協会常任理事、東海大学ヨーロッパ学術センター（在デンマーク）の所長に就任。
昭和四十七年 東海教育研究所長、学校法人東海大学常務理事・副学長、九州東海大学学長に就任。
昭和五十一年 東海大学出版会会長、東海大学科学博物館館長に就任。
現在出版国際交流会副会長、東海大学野球部長、同山岳部長を兼務。

著書 「ヨーロッパ東と西」「蒼きヨーロッパ」「未来への転換——曲り角に立つ日本」その他研究論文多数。
趣味 読書、旅行、スキー、野球、アマチュア無線。
好きな食物 川魚、カレーライス。
家族 妻節子（四十才）、長男義昭（大學生）、長女のぞみ（高校生）、十三年振りの次女めぐみ（四才）。

松前達郎の会事務所
東京都中央区銀座五丁目
西銀座ビル四階
電話 〇三（五七）一四二三

現在の日本の政治は、国際社会の荒波の中で、幻の蜃気楼を追って漕ぎ続ける木の葉の船のようなものといえます。このままの状態が続くと永久に目的地に着かず、漕ぎ手は疲れはて、船は海中に没するか、世界の孤児として大海を漂うしかありません。

経済万能の日本の政治は、海外でも激しい攻撃をうけ、エコノミックアニマルという言葉まで生まれました。エネルギー危機・食糧危機など日本のおかれていた状況は生やさしいものではありません。専管水域二百カイリの問題が今日まで放置されてきたことなども、日本の政治の欠けた部分をあらわに示しているといえます。

私たち日本人は、今こそ自分たちの力で新しい価値観に基づく政治ビジョンを打ち出し、一人一人が日本のこれから進

「雨の中の再会」
第十二回総会開く

「この雨の中をみんな来てくれるかな」心配そうに見上げる空から夜来の雨が続く五月二十三日。あいにく大学の校舎も試験の為に使えず、会場も附属高校の建物に変更した。「一年ぶりにやって来る人達の為に用意をしよう」と変更の張紙やら、会場の設営に役員が走りまわる。その熱意が通じたのか定刻より一時間早く参加者第一号が表われた。青木氏(四A)である。準備をする手が一段とはずむ。生徒クラブ室に、用意した料理や飲み物が運び込まれ、参加者の女性達の手助けもあって盛りつけが進み会場が出来上がった。一時には参加者も六十人になつた。

「これから第十一回同窓会総会を開催します。」松長根議長の声で総会が始まった。下倉会長の挨拶・経過報告、清水氏の会計報告が承認され、提出された会則一部変更の件も別記の通りに満場一致で可決された。会員の交流を充実させる為、会報の発行に力をつくしたいと、会長留任の挨拶のあと同好会の担当者がそれぞれ包負をのべて総会は終了した。兜森・大橋(共に十一C)両嬢と、石川夫人(十二A)が力を合せて準備した料理が待ちかねている別室で懇親会がはじまった。内木校長先生が「一年ぶりに皆さんに逢うことが出来て大変うれしい。何はともあれ皆さんに乾杯！」と挨拶。待ちかねた様にあちこちで歓談の輪が出来る。ひっぱりだこの内木校長。

第十二回 同窓会総会及び三校合同懇親会案内

今年も第十四期生二〇名の歓迎を兼ねて総会を開催します。懇親会は別紙案内の通り附属高校・相模高校・望星高校の三校合同で行ないます。
当日は松前総長・松前達郎先生・内木校長をはじめ来賓の方々も多勢おいで下さる予定です。初めての企画ですので、多数ご出席下さる様ご案内申し上げます。
なお同封のハガキで四月二十日迄に、出欠をお知らせ下さい。

記

- 一、期日 五月一日(日)
 - 一、日程 午後二時 同窓会総会
望星高校 三四一教室
午後三時 三校合同懇親会
四号館 五階 講堂
 - 一、会費 一〇〇〇円
- 東海大学附属望星高等学校同窓会
会長 下倉良次

奥村先生、佐川教頭先生・桜井先生もグラスを置けない程声がかかる。やがて成田先生が、「懐しいフィルムをお見せします。」と学生時代のハミリ映画を写した。「あれ俺がいるよ」「あの時は苦しかったなあ」「運動会・球技大会やスキ―交歓会等当時を思い出して話題はいつまでもつきない。「又来年来ます」「お元気でね」四時過ぎに散会したもののすぐに帰れない人達がグループで二次会へと向う。参加者七十六名が来年の再会を約束して家路につく頃は雨もすっかりあがって、さわやかな五月の風が吹いていた。



会則一部変更
第十一条 四項
(旧) 役員会は会長・副会長・書記・

会計で構成する。
(新) 役員会は会長・副会長・書記・会計年度委員で構成する。

第十四条
(旧) 会費は終身会費五百円とする。
(新) 会費は終身会費千円とする。

以上

〇 今年も彼女は来るだろうか？返信ハガキを整理しながら誰となくつぶやく。役員の中でもすっかり人気者になったのが菊池多恵子(旧姓遠田・六期生Dクラス)さん。今年も酒田市からはるばるやって来ました。総会が楽しみです。毎年できる限り都合して出席します」と話していました。先生方にも顔馴染みとなりましたが、同期生の皆さんもぜひ出席して下さい。



〇 総会の陰の立役者は兜森厚子(十一期生Cクラス)さん。同期生の大橋園枝さんと共に石川保雄・園恵夫妻(十二期生Aクラス)の家に前夜から泊りこみで料理を作ってくれた。料理を作るのが大好きという青森出身の娘さん。石川夫人も身重の体で心配されたが良く手伝ってくれた。真心のこもった料理は出席者から大好評であった。心からお礼申し上げます。

橋爪君のこと



校長 内木 文英

四年前の二月、スクーリングの朝、望星高校の生徒のひとり、読売新聞を持って私の所へやってきた。脳性マヒで、指が一本しか自由にならない栗原素子さんが、通信制高校に入学を断られた話が載っていた。

「先生、望星に来たら、この人を入れてあげて下さい。」

とその生徒はいうのである。「本人が希望したら、もちろん……」と私は答えた。何人もの生徒が、同じことをいってきた。

いろいろないきさつはあったが栗原さんは入学した。(彼女はこの三月、めでたく卒業ということになる。)そのことが又新聞で大きく扱われた。私と彼女とならんで、テレビに出たりした。

そのあとで、藤沢の橋爪さんという人から電話があった。筋シストロフィーという難病で、明日も知れぬ身だが、息子が高校の勉強をしたいといっている。ぜ

ひ入学を許して欲しい、ということだ。昭和四十八年の入学式には車椅子が二つならんだ。

橋爪君はお父さんの運転する車で、スクーリングの日には学校までやってくる。お母さんも妹さんもいっしょで、お昼休みなどには日当りのいい教室の一隅で、ビクニククのようにお弁当をひらいたりしていた。

その年の文化祭で、三年生が私の旧作「弔辞」を上演した。虚無的なもの抗して生きようという人間たちの姿を、やや象徴的なタッチで描いたものだが、望星の生徒たちは、存在感を感じさせる演技で立派に演じた。私は感動した。橋爪君親子もこの劇に強く心をうたれた、ということがある。

先生は先生でいるよりこうした劇を書いて生活された方がいい、などと、橋爪君のお母さんにいわれて、面映ゆい気持ちになった。

橋爪君の病状は二年終了後悪化し、ついに退学ということになった。担任の池淵先生も、仲間を失うということで栗原さんも大きなショックをうけたようだった。

昨年四月特科生として復帰したが、十二月、ついに永眠された。ことし一月十五日、橋爪君の妹さんの

文章が、朝日新聞「ひととき」の欄に掲載された。私は涙をぼろぼろこぼしながらその文章を読んだ。
橋爪君のご冥福を心から祈りたい。

ひととき
望星高校の生徒、栗原素子さんが、通信制高校に入学を断られた話が載っていた。先生、望星に来たら、この人を入れてあげて下さい。とその生徒はいうのである。本人が希望したら、もちろん……と私は答えた。何人もの生徒が、同じことをいってきた。いろいろないきさつはあったが栗原さんは入学した。彼女はこの三月、めでたく卒業ということになる。そのことが又新聞で大きく扱われた。私と彼女とならんで、テレビに出たりした。そのあとで、藤沢の橋爪さんという人から電話があった。筋シストロフィーという難病で、明日も知れぬ身だが、息子が高校の勉強をしたいといっている。ぜ



緑の大地

恵まれた国土に新しい世界を造ります

東海建設株式会社

本社 東京都新宿区新宿3-27-4 新宿東海ビル
電話 03(356)1701(代表) 〒160

特集 同窓生夫妻の家庭

在学中から大変仲の良かったカップル。あの人達は今どんな家庭を作っているのでしょうか。話題の二人に次の様な質問をしてみました。

- ① 家族②住所③結婚記念日④学校時代の思い出⑤学校で印象に残っている行事等⑥同窓会への希望外何でも書いて下さい。

- ① 武田光弘 三期生 Aクラス
孝 (壬丑) 一期生 Aクラス
七才 (一先生) と五才の娘二人
- ② 岩手県盛岡市山岸四一三―十六
- ③ 昭和四十二年四月二十一日
- ④ 一期三期ということもあったでしょうが、勉強にもクラブ活動にも、先生方がとっても生徒を大事にしてくださいました。交流が深かったということが一番、もう二度やれないだろうということに、南アルプス縦走の思い出、娘達が大きくなったら二人が登れたことで自慢話になることでしょう。



- ⑤ 大学生にまじっての運動会、通信生は何人もおりませんでしたから。
○生物で鳥の解剖をやって、最後に料理して食べちゃったこと、若き由に出来ました。
- ⑥ いつか同窓会に参加してみたいと思っております。遠く離れてしまいました。が、青春の時を過ぎた地が何よりも美しく思える最近です。岩手の地も又素晴らしい地ですので旅の時は「同窓生です」と寄っていただきたいもの。望星のつなが

りは一味ちがったように思えませんか。

- ① 永吉隼人 五期生 Aクラス
チエ (桑名) 五期生 Eクラス
豪 (六才) さくら (三才)
- ② 松戸市松飛台一〇三
旭化成アパートの一〇三
- ③ 昭和四十三年五月三日
- ④ 皆んなと楽しく過ごした夏のキャンプ、冬のスキー
- ⑤ 学園オリンピック、修学旅行 (佐渡)



- F M 東海問題
- ⑥ バレーボール、ソフトボール等年一回誰でも気軽に参加出来る行事を計画してほしい。

貴方の個性を生かす



アートメガネセンター

新小岩店開店!!

東京都葛飾区新小岩1丁目42-12
TEL 03-651-1547
(3期卒業生) 瓦井 修

“アッ火事ダ”

あなたのビルの消火設備は?

特定消防施設工事業
宮本設備工事株式会社
代表取締役 石川 俊三
(3期卒業生)

本社 東京都港区浜松町2丁目1番8号
電話 (432) 2741 (代表)

① 山本一夫 五期生 Aクラス

イツ子(堀内) 四期生 Bクラス

健次(七才) 恭子(五才) 泰子(八ケ月)

② 愛知県豊橋市野黒町十四番地

昭和四十二年十月二十八日

③ 昭和三十九年十二月末のフォークダンス部主催のパーティで知り合い三年間の付合でゴールインしました。学校時代の想い出と言っても妻は日清紡に勤めていたので月二回のスクーリングではあまり逢う事がなくもっぱらスクーリング以



⑤ 運動会、ハイキング、修学旅行等。外の日曜と電話でデート。でもテストの時など話し合って勉強し都合の良い事もありました。

⑤ 運動会、ハイキング、修学旅行等。

⑥ ……

① 田中秀夫 八期生 Cクラス

啓子(新谷) 十期生 Cクラス

長女 美和子(05才) 特技オンジャブリ(パパに似て美人)

② 埼玉県川越市東田町四一八

昭和五十年五月二十五日(晴れ)

③ 四年間女性に囲まれて楽しかった。

④ 「感無量」と妻が言っています。

⑤ 最近、身体全体に栄養を貯え、子供が生まれてからは、ミルクの迷乳で頭を痛める親心。まさに忙月忘日! Cクラスのみなさんお元気で。



① 田山啓三 八期生 Cクラス

ゆみ子(会田) 十一期生 Cクラス

子供は現在進行形

② 埼玉県川越市東田町四一八

③ 本来は大安吉日にするのだが、私共は逆って先頁である。昭和五十一年六月二十日に二人三脚のスタートをきる。

④ 戸籍筆頭者の想い出は、三年生の時の日本史の先生が美人だった事かな。私も自分の容姿を棚に上げて、学生の本分を忘れ、教科書を見つめればいいものを、頭が自然に上を向いてしまったものです。

女房の想い出は、授業中に眠かった事らしい。特に春先の陽気のいい日は、教室内が一日の疲れを取る唯一の場所だったらしい。もうして見ると夫婦そろって学生時代は学業以外のものに、だいぶ時間を使った様です。

⑤ 四年生の時にフランス人形の様な女装をして文化祭で熱演した事だが、この時心に決めた事は、もし結婚して男の子が出来ても絶対に女装だけはさせまいと思った。女房は修学旅行。そもそも修学旅行とは研修が目的なのだが、本来の道よりズレて食べ歩き旅行になったと本音をはく。

⑥ 結婚して約八ヶ月過ぎたが、いなのところは、夫婦というより「ままと遊び」と言う実感がある。もう少し時間がたてば、夫婦らしい味が出てくると思う。二十年後の自分達の姿が、どうなっているか楽しみだ。

サッポロラーメン

どさん子大将



福祉センター内 TEL 0489 36 6008

新宿

天松



斎藤節子
(旧姓浦野)
(4期生)
新宿区新宿
32-8
中央ロビル地下
電話 03(354)9547

三ツ桃クラス会

昨年十月、第八回日清紡績三ツ桃クラス会を行いました。

この会は、西新井工場に四十年に入社し、共に働き、学んだ仲間による会で、約八年前に始められました。住所がわからないう人々も沢山いますが、約三十名程です。四年間学び通した人も、転職などで卒業できなかった人もいます。

場所は地方から出席してくる人の列車の都合が良いので、上野のどこか、と決めています。この日の出席者は少なく、八名でした。欠席の理由としては、出産、出産準備、幼稚園の運動会、などと主婦らしい理由でした。何年ぶりに逢う友達もいました。並べられたお料理に、はしをつけながら話はずきません。昔、寮生だった頃の私達の話といえば、職場や上司のぐちこぼし、又、男子寮の話と、そうばは決ったものですが、主婦となり、母となった十年後の私達は、家庭の話、子供の話と変ってしまいました。この三ツ桃クラス会の特長の一つに、プレゼント交換があります。千円ぐらいの品物に思い／＼の手紙を添えて持ち帰ります。そして、つたのからまるチャペルで…と、あの頃良く歌った「学生時代」を歌いながらプレゼントを回します。歌

い終って自分の手元にあるプレゼントを開き中に入ってる手紙をみんなに紹介します。私は自分で作った帯めめを…。又私の所には、すてきな袖のおさいふが、届きました。他には、スリッパ入れ・ハンカチセット・鏡・食器などいろいろありました。

こうして約三年間、このクラス会がいつまでも続く事と、次回のクラス会にも必ず元気で出席しようと思ひ合って終了しました。

都合で出席されなかった鎌田先生、武田先生、そして仲間のみなさん、本年度のクラス会には必ず出席して下さいね。心よりお待ちしております。また、この会の事を知らない方、是非住所を知らせて下さい。後に出席者を書いておきました。なつかしい名前もある事でしょう。貴方の友達に連絡して、この会の詳しい事や様子などを聞き下下さい。

そして今年の十月、上野で集って、楽しく語り合ひましょう。

山岸有子
○四八九一三六一九五〇四

出席者 敬称略(一)内旧性
渡辺スミ子(長岐)、太田ヤイ子(桑原)、
根岸セツ子(平泉)、遠藤博子(平井)、
鳥羽田正江(大川)、藤井恵子(立原)、
松岡鈴代(内山)、山岸有子(松田)
次回幹事 ○三一九一五七七三
根岸セツ子

クラブ報告

山岳会活動報告

永山健造

望星同窓会の山岳会が発足して、早や一年が過ぎようとして居ります。山岳会の入会に就いての問合せは二・三件ありましたが、新規の入会はありませんでした。その為現在は望星山岳愛好会OB会が中心です。そのOB会も山岳愛好会が発足して三年目でありますので現在は十二期生十二名、十三期生二名の計十四名です。山岳会では山の好きな、山を愛する同窓生の方の入会をお待ちして居ります。そして名実共に同窓会山岳会としての活発な交流の場になりたいと願って居ります。同窓会山岳会の五十一年度第一回目の山行として、望星山岳愛好会の第十四回、十月三十一日(日)二本木峠とみかん貯り山行に同行しました。

当日は現役の参加がリーダーの山岡栄次君只一人でしたのでまるで同窓会山岳会の単独山行みたいでありました。特に風布のみかん園では、奇しくも会員の須山美恵子さんの思師宅でもあり、美恵子さんの幼ない日のエピソード等紙面では書き表せない程楽しい一日でありました。

参加者 リーダー山岡栄次、鈴木茂、横山和江、須山政行・美恵子、増島敏、鈴木政司、志田末芳(芳子)、菅野英文(ケイ子)、永山健造(洋子)。

BOHSEI

望星企業株式会社

本社 〒150 東京都渋谷区神泉町22-1
TEL 03(469)3731(代)
営業所 〒259-11 神奈川県伊勢原市望星台
TEL 0463(93)2252(代)

・メディカルコンサルタント・一般建築設備・公害関係環境設備・医薬品
・薬局の経営・メンテナンス・貿易プロジェクト

昭和五十一年度の望星高校は、次のように、いよ／＼充実した学校として前進を続けている。

◎ 広域通信制高校

昨年度の会報にてお知らせしましたように、望星高校は、東京都を学区とする狭域通信制高校から、日本全国を学区とする広域通信制高校へとなりました。この手始めとして、今年度は、東海大学静岡校舎に面接指導場を開校しました。初年度であるため、生徒は一年生のみで十名と少数ではあるが、望星高校の生徒として誇りを持って勉学に励んでいます。順次、学年の増加につれて、生徒数の増加があるものと思います。

今後は、順次、全国各県に望星高校の面接指導場が開校される予定です。

◎ 特科生・選科生の開設

現代社会は、生涯教育の場を求めている。通信制教育は、この時代の要請も取り入れ、単なる高校教育の範疇より飛び出し、主婦などの生涯教育の場をも目指している。

望星高校では、高校教科目を教養として学習したい者（特科生）・一部科目を履修したい者（選科生）の制度を開訪し広く学校教育を社会に開放した。

◎ 合宿スクーリングの実施

教年前より、合宿スクーリングについて検討がなされてきたが、昨年の八月二

十八日・二十九日の二日間にわたり、静岡県清水市にある東海大学三保研修会館において実施された。

当日は、天候も良く、青松向砂の名勝の地、更に新築まもない施設と、全ての条件に恵まれ、生徒・教職員約二〇〇名が参加した。そしてソフトボール・ディスカッション・キャンプファイヤーにと多彩な行事に意欲的に取り組み、初期の目的である。寝食を共にする中から、生徒相互・生徒と教職員との親睦は、忘念に達成され、非常に有意義な二日間であった。

学校だより



今後は、毎年実施が予定され、卒業生の参加も検討したい。

◎ スキー教室

以前は福島県会津中央高校の呼びかけによる関東・東北地区の通信制高校生徒連のスキー交歓会に参加し、スキーを通して他校との交流を深めてきた。しかし、ここ数年は、望星高校独自のスキー教室が持たれるようになった。

このスキー教室は、生徒の親睦と同時に、スキー技術の向上にも重点がおかれ教職員の指導がされている。毎年多数の

初心者が参加しているが、全制動回転まで行なえるようになり、また上級者は、それなりの技術の向上をしてきている。

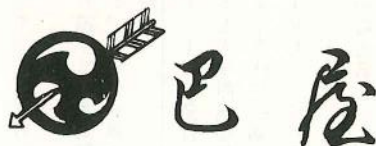
今年度は、一月二十八日より三十一日まで、長野県菅平スキー場にて、約五十名が参加して実施された。期間中は、快適な条件に恵まれ、熱心な指導員の指導のおかげでスキーを楽しむことができた。尚、スキー教室には、毎回卒業生の参加があるが、今年度は三名と淋しかった。

今後は、多数の卒業生の参加を希望している。

(文責 奥村 彰)



おそば



代々木富ヶ谷東海大学前
電話 (467)6306~7

快晴の三保に集う

第二回同窓会連合協議会総会

快晴の十月十七日、第二回総会が東海大学発祥の地、清水市の三保で開かれた。静岡地区の第一高校・工業高校・実業高校の三校が幹事となり望星高校からも下倉・清水・松長根・漆谷の四名が参加した。

懇親会には静岡・清水在住の各校同窓生が集まり、来賓の松前達郎先生を囲んで余興の歌や手品があり楽しく、有意義なひとときであった。

今年代々木校舎で附属・相模・望星の三校が中心になって五月に別紙案内の通り開催します。皆さんもぜひ参加して遠来の友を暖かく迎え、親交を深めようではありませんか。

クラス便り

十四期生 片桐京子

皆さん、お変わりありませんか?...

Cクラスは、皆様御存じの、伊藤先生、佐藤先生に、新しく入られた長谷川先生、松井先生が、両番を担当しています。数年前は、諸先生方も七名でしたが、今では、たったの四人と淋しくなりました。全生徒も一三〇名位しかおりません。でも人数が少なくても、毎年恒例になった、クラス別合唱コンクールや、弁論大会などは、各々入賞をめざし必死に頑張っています。またB・C・Dクラスとの三学園球技大会は、テニス・ソフト・バレー・卓球に大いに若き闘志をもち、毎年頑張っています。

寮は、毎日笑顔たえることなく、自治会の行事に、皆積極的に参加し楽しい生活を送っています。でも、残念なことに、不況の影響で製繅科は、職場の状況が変わり、一部専務勤務と二交代になりました。織布科は、今以上に忙しくなり皆、懸命に働いています。

四月になれば、大きな桜の木であざやかだった寮内も、今では切り落され、小さなさくらに植え変わりました。A番四寮がなくなり、バスケットコート

になり、体育の時間に使っています。元のバスケットコートは、なんとさつまいも畑、野菜畑になり、手を加えては、野菜の生長と食べられるのが楽しみです。三寮の七・八室が、みよしの保育園になっちゃったし、思い出のしみこんだ寮は、少しずつなくなっていくますが、川越工場があるかぎり、先輩たちの、築きあげたものは、なくなりません。どうか私達が、思い出の一ページを過ごした川越に一度遊びにいらっしやいませんか。池の鯉と春の音を聞き始める此項です。

消息便り

次の人達の住所をご存知の方は同窓会事務局迄お知らせ下さい。(敬称略)

●六期生Cクラス(四十一C)

浅見英子、大久保まち子、小野塚季、神田よしみ、工藤ユキ子、小久保和枝、佐々木久美子、佐藤和子、佐藤レイ子、沢田キミ子、清水ひろ子、高橋孝子、高橋波江、館本ユミ、田中友江、千葉タキ子、豊間根チャ、前野純子、間島和子、森恵美子、谷津菊子、山内栄子、山口レイ子、山中とら、土田光子(旧姓過足)、横田春江、吉野寿美子、渡辺ハツ子、松本進
○Dクラス(四十一D)
泉田良子、小野鈴子(旧姓伊原)、遠田富子、叶内友子、金内美子、佐久間福子、

庄司典子、杉山セツ子

○Eクラス(四十一E)

佐藤礼子

○Fクラス(四十一F)

丹波弘子、敦賀章

○Gクラス(四十一G)

市川和美、小坂守行、後藤豊孝、中坪信吉、山道孝博

●七期生Aクラス(四十一A)

佐藤馨、前野充宣

○Bクラス(四十一B)

大友三貴子、小野さよ子、川出美津枝、佐藤由美子、広瀬てる江、村田光子、山形れい子、村上よね子(旧姓山崎)

○Cクラス(四十一C)

荒木喜栄子、安保トミエ、伊井加代子、五十嵐栄子、石塚厚子、伊藤政子、岩沢八重子、岩淵千代子、江井しずえ、遠藤良子、古川みき子(旧姓大橋)、北原キエ子(旧姓浦田)、中西よし江(旧姓岡野)、小川美恵子、小野寺キヌ子、小野村節子、石堀とも子(旧姓中村)、橋詰陽子、平野より、瀧向京子、猿子フサ子、松井美代子、水口利江、高橋菊江(旧姓溝井)、峯田真貴子、柳沢正子、山崎すい子、山西千代恵、吉田かず子、神内サト子、木村節子、桐生卷子、工藤聖子、佐藤しず子、佐藤みつ子、高橋美代子、竹内みち子、渡辺悦子

以下次号

編集後記

★創刊号内本校長の「諸君ふるさとを訪ねたまえ」は大変好評で数々の便りが寄せられました。先生は父親の気持ちで皆さんの便りを拝見し、来校するのを待っています。

★今年の総会は会場等の都合でゴールデンウィークと重なりました。ご家族・友人等多数誘ってピクニックのつもりで気軽に参加して下さい。楽しいアトラクションも計画しております。

★松前達郎先生は、望星高校の発展に陰ながら寄与されています。松前総長に代って同窓会にご挨拶を頂きました。

先生はより高い希望に向けて飛躍しようとしております。私達も大いに期待しましょう。

★会報の題字は、数通提案があり検討しましたが、同窓会々報とすることに決定しました。

昭和五十二年三月発行

発行 東海大学附属望星高等学校同窓会

東京都渋谷区富ヶ谷二ノ二八

TEL(〇三)四六七二二二一

編集者 下倉良次

船橋市若松二一八一二二〇九

TEL〇四七四(三三)九六四七